

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所国立健康・栄養研究所
創立100周年記念事業寄附金募集趣意書

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所国立健康・栄養研究所（健栄研）は、大正9（1920）年9月に内務省所管の栄養研究所（初代所長：佐伯 矩）として創設され、昭和13（1938）年に厚生省所管の研究所となりました。昭和23（1948）年に「国立栄養研究所」として、現在の新宿区戸山に移設され、平成元（1989）年に身体活動・運動に関する研究部門を加え、「国立健康・栄養研究所」となり、平成13（2001）年に独立行政法人化され、平成27（2015）年に独立行政法人医薬基盤研究所と統合し国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所（医薬健栄研）が設立されました。

健栄研では、一貫して、国民の健康の維持・増進につながる栄養と身体活動の研究を推進して参りましたが、平成27（2015）年からの中長期計画においては「日本人の健康寿命延伸に資する身体活動と栄養の相互作用に関する研究」、「日本人の食生活の多様化と健康への影響、及び食生活の改善施策に関する栄養疫学的研究」、「健康食品を対象とした有効性評価及び健康影響評価に関する調査研究」を重点研究としています。加えて、法律に基づき、国民健康・栄養調査並びに特別用途食品などの収去・許可試験（栄養成分表示値の確認試験）に関する業務を行っています。また、「栄養と身体活動に関するWHO協力センター」としての国際協力を行うとともに、身体活動・栄養・食品に関する国内外の最新知見を情報発信しています。

こうした中、令和2（2020）年のオリンピック・パラリンピック東京大会の年に100周年を迎えます。この大きな節目にあたり、これまで健栄研を支え育ててくれた多くの方々やこれから健栄研を応援しようという皆様と節目となる100周年を記念する事業を実施するため寄附金を募ります。

事業内容（寄附金の使途）

- ① 国際交流事業の推進と若手研究者育成の拡充
- ② 100周年記念フェスタ・式典の開催
- ③ 100周年記念講演会の実施
- ④ 100周年記念誌の刊行
- ⑤ 記念史料収集保存展示
- ⑥ 創立100周年記念事業の推進活動
- ⑦ 将来、研究所が発展することに寄与する事業

※詳しくは下記のホームページをご覧ください。

<http://www.nibiohn.go.jp/eiken/about/hyakushunen.html>

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所国立健康・栄養研究所創立
百周年記念事業実施委員会委員長（医薬健栄研理事長） 米田 悦啓